

2019年  
11月01日  
第2号

# Welcome TOKYO 25th

第25回全国交流集會  
現地・東京実行委員会  
発行責任者 齊藤邦彦



2020年  
5月16日(土)13時  
17日(日)12時まで  
[ニューウェルシティ湯河原]  
参加費:16,500円

### ◇電車

- ・新幹線:小田原駅又は熱海駅下車  
東海道線乗り継ぎ湯河原駅下車
- ・東海道線:JR湯河原駅(東海道本線)下車
- ・バス:2番乗場、奥湯河原行、不動滝行バス7分 理想郷下車徒歩1分

### ◇車:駐車場127台完備

- 東京方面より:東名厚木IC→小田原厚木道路→石橋料金所→真鶴道路(R135)→湯河原
- 静岡方面より:東名沼津IC→熱海道路→熱海→湯河原
- カーナビ入力  
神奈川県足柄下郡湯河町宮上359



## 一人ひとりが集會を創る側で 全国の仲間を暖かく迎えるため

東京現地実行委員会 事務局長 高井 豊治

第25回全国交流集會現地 数年間の東京ブロック各県 実行委員会事務局長を担う 協の行動の不十分さを克服 ことになった高井豊治(東 しよう)という気持ちから導 京西部協(専従)です。以 各県協の「総会・まなぶ講 後、これまでの集會の総括 演会・県読者大会」へ、四 役中心にしなから、お互い 決意しています。

今回「湯河原で創る10 0人の一歩」は先の実行委 員会の中で、今集會のメイ ンテーマとして確認されま した。このことは、「この した。このことは、「この した。このことは、「この

てみないことには?と いう事もあります。特に、 機動班および不案内参加者 の案内など、役割分担につ いては、多くのことが求め られていると、全員下見に 行く前から気を引き締めて います。

全国からの参加者を気持 よく迎えられる様に、東京 ブロックの実行委員は、こ の集會を創る側として、東 京6県協・全友の会員と共

に、今後、集會まで意識し ていきたいと考えています。 「集會に参加して良かった」と総括されるよう、全力を 傾けます。

### 人に歴史あり

日赤闘争時の仲間と 湯河原でも再会したい 松山赤十字病院時代の 「二八闘争」は、今でも大切 な教訓がありました。ナースは命を預かる仕事ゆえ、八日二日の宿直で二人体制を守らせる闘いです。低賃金だけでなく、遅配もあり、一三三日の闘いとなつた。それはナースになったばかりの事でありました。

全寮制で三年間、国家資格を取るために頑張つた仲間も闘いに加わりました。あの時の同期は25人だつたが、いまだに何かあるとほとんどの仲間が集まります。あの闘いがあったからだと、つくづく思います。

松山日赤闘争の時、夫と結婚し48年が経ちました。第24回全国交流集會で、日赤闘争を支援してくれた昔の仲間との再会があり、『月刊まなぶ』の「読者から」のたよりで文通もでき、湯河原での再会できることを期待しています。

東京西部協  
あらぐさ友の会  
長岡 壽

# 東京各県協 会議・諸活動で働きかけ



7月21日(火)西部協読者大会を開き、上野の山周辺を散策と歴史から学び、新会員も含めて「湯河原へ一緒に行こう!」と交流を深めた一日でした。

10月6日(日)北部協秋レクを開き、埼玉県防災教育センターで「災害・防災」を学び、会員の娘さんと友人(若者4人)を囲み楽しく交流ができ、次は「もっと・・・」が増えそうです。

## 各県協 第40回総会を準備

- <東部協>総会：12月15日(日) 10～17時  
旗開き：2020年01月12日(日)
- <西部協>総会：12月07日(日) 13～17時  
旗開き：2020年01月25日(土)
- <南部協>総会：12月15日(日) 13～17時  
旗開き：2020年01月25日(土)
- <北部協>総会：12月14日(土) 13～17時  
旗開き：2020年01月 日( )
- <中部協>総会&旗開き  
2020年01月26日(日) 10～19時
- <三多摩>総会&旗開き  
2020年01月19日(日) 10～19時

※ 東京ブロック100人の参加者をめざし、読者・家族を含めて、具体的なリストと働きかけをしています。

**あの日 あの時**  
 長岡 英夫  
 半世紀前の老廃 長岡氏  
 は 肺結核で療養中だった。そのためなら 病院が赤字に  
 むろん「模範患者」の一人 なるう白ツクアウトをえるー!  
 として。当時 結核の新薬が 組合員の玄関前「座り込  
 開発され 誰もが使ってもら みに「内側からキーをかは  
 いたかた。当局に求めたが 外来患者もシャットアウト。  
 拒否  
 患者集会を開いて、ちと 解除の命令  
 認めさせた。なんとそれで ーの闘争中に結婚 以来48  
 「患者自治会長にさせられ 年間シツタ激励を受けてい  
 た。 アリガタイはなしだ。」

10月27日 日 東部協  
 女性交流集会 岸真弓  
 さんから「闘わなひと人  
 間らしく生きられな  
 ことを学ぶ

